

フィンランドから

古田 逸子

親切で 温味があって、静かであるというのがフィンランドの国民性とされています。そしてもう少し付け加えると、一寸不器用で。当然ながらこの国民にもいろいろな人が居るので、中には、要領の良い人だって居ます。去年のクリスマスの休暇でした。休暇中に、北カレリヤのEさんという友人の家を訪れることになって、さて、学割で汽車の切符が買えるだろうかということが問題になりました。原則として、帰省用にしか学割は利かない筈だという説をはじめとして諸説紛々、スツタモングの挙句、それでもとに角学生割引証なる紙切れは、学校で手に入れました。で、それを持ってEさん、自分の切符と一緒に、駅へ買いに行ってくれたのですか、駅員に質問されてしまったそうです。「ここに書いてある名前、外国人みたいですが何で読むんですか」「指書で書いてあるんですけどあなた読めるでしょう」「この人、ここへ帰省するんですか」「そうだと思います」……めでたく私は学生切符で旅行できました。

山 道



浅間への巡検

(二 年 生)

私達二年生は、昨年6月28日から3日間、現在広島大にお移りになった吉田先生の御指導のもとに、初めての巡検を経験しました。浅間火山を中心に地質構造を調べたのですが、初めてという事もあり、先生の説明をノートするのが精一杯でした。相当疲れましたが、さすが軽井沢だけあって風は快くカッコーの声を聞きながら、裾野に広がる美しい野原を行ったり、天然のソーダ水を飲んだりして、思い出深い巡検となりました。